



『運動会後に未来について思うこと』

理事長 中矢謙一郎

二期期の新聞記事をしたためるのは例年運動会あとの十月なのですが、その十月に入りスポーツ庁から「二〇一九年度体力・運動能力調査」の結果が公表されました。

この分野の調査・研究において先進的な役割を果たしている順天堂大の発表によると「日本の子どもは一九八五年頃までは（身体の）大型化に合わせて体力も伸びていたが、その後は体力だけが低下した。特に運動が苦手な子が大きく落ち込んで二極化したのが特徴で、こうした下位層の底上げが急務。」という評価でした。

体力の低下はもう長い間この国（家庭・学校・地域社会）の課題でしたが、「二極化（体力・運動能力を維持・発達できている子どもとそうでない子ども）」は、ここ近年特に注目されるキーワードになってきています。そしてこれは、習い事等に頼らなければ、子どもたちの運動機会の創出ができていく社会になってきていることを意味しています。

この課題に対して、家庭・学校・地域社会がそれぞれの工夫をしなければなりません。元々の国は一年のおおよそ三分の一が降雨日であるだけでなく、温暖化による酷暑のため屋外運動に制限がかかるようになり、子どもの運動環境は更に難しい時代に入ります。

世界中の諸団体が参考にしている「スキャモンの発達曲線」が示す通り、幼児期における十分な運動機会は、その後の運動能力や発達に欠かせません。当園は、降雨後使用できるフレイコート、年間使用できる温水プール、大型の遊技場とクライミング・ウォールという屋内外の運動環境を併せ持つ学校ですが、酷暑が一層深刻になり子どもたちの心身の健全な育成が後退する前に、先述の「運動制限」に対する回答を見つけないけません。

「学校」に出来ること、学校に出来ること・・・と、ここ数年随分悩んでいます。目の不自由な方たちのための点字、耳の不自由な方たちのための手話、車椅子を利用される方たちのためのバリアフリーの駅舎のように、現在と未来において子どもたちが存分に運動できる環境が整う学校でありたい、その心を新たにしたい運動会あとの秋でした。



学校法人
木の実幼稚園

松山市西垣生町 1690
TEL 089-973-1256
FAX 089-973-1320

●発行人●
PTA 会長 黒田千亜紀
園長 中矢コノミ
PTA 編集部 阿部沙耶佳
松本 美鈴
能登原美緒

『今年に思う』

園長 中矢コノミ

十一月六日は、木の実幼稚園の創立四十四年の誕生日でした。今年に入ってから全くとり予期していない、全く耳にしない「新型コロナウイルス」の感染が日増しに報じられ、子ども達の生活は様変わり。行事はことごとく見直し、そして、中止が余儀なくされ日々気の休まることはありませんでした。今年もお・・・

今迄の生活を根本から考え、見直し、日々只々子どもの安全を願うことを第一に。「保育の場で新しい生活様式が求められる」中であって、それは、これまでの保育の「当たり前を問う」機会、そして、職員みんなで考える機会にすることか悩みました。現場において密は絶対避けられない！感染から子ども達を守ることは？等々考えた時、対面で頂く昼食時に使用する手作りシールドヤ机等の消毒の徹底、流水による手洗いの徹底、特にバス内のマスク使用の徹底と大声を出さないことでした。今後このことについては、ずっと長く心がけ、生活の一部となるよう徹底していきたく思います。

コロナ禍にあって、普通の生活が出来ることのがありがたさ、また、健康であることの感謝、このことを大切に日々生活をする中で、特に年長児には、木の実幼稚園での思い出づくりを考え工夫していきたく思います。

最後にいくつが言葉を送ります。

「教育とは、自分探しの旅を助ける営み」です。何故なら子どもは自分自身で自分の幹を太くしようとする、即ち成長する力を子ども自身の中にもっています。そのためには、「遊がたのしさ」「学がたのしさ」が存分に感じ取る日々の生活でなくてはならないと考えています。



第44回 秋季大運動会

みんなのえがおで かがやくみらいへ つきすすもう!

「運動会を
終えて」

体育部部长 金子 美保

コロナ禍における運動会開催に向けて、さまざまな規制や制限をさせていたたきながらも、第四十四回の実幼稚園運動会が開催されました。年長さんの挨拶にもありましたように、少し寂しい運動会ではありましたが、この日の為に、一生懸命頑張ってきた姿、転んでも歯をくいしばってリレーに臨む姿に心打たれ、体育部も部員一丸となって部会を重ね、運動会を迎えました。

当日は、夏を感じさせる暑さの中、子どもたち一人一人が自分のできる限りの力を発揮して、「ご家族の方々からも沢山の拍手が沸き起こり、運動会全体が一体感に包まれました。私もこの場で一緒に体感できたことが、とても幸せでした。最後に、運動会に携わって頂いたすべての皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



44歳
おめでとう!

11月6日(金) 木の实幼稚園創立記念日

『創立記念バザーを終えて』

文化部部長 石高 裕子

さわやかな秋晴れの中、無事に今年のパザーを終える事が出来ました。コロナ禍により子ども達のみでの開催となりましたが、保護者の皆様、先生方のご協力のもと、笑顔溢れるバザーにする事ができ、この場を借りてお礼申し上げます。

コロナウイルスの影響で、例年よりも約1ヶ月半遅く活動が始まった6月。収束の目処もたはず、先行きの見えない不安の中で準備に奮闘する日々でした。7月半ばに創立記念行事の中止が決定してからは、せめて子ども達に楽しんでもらいたいという一心で、文化部一丸となり突き進む事が出来たように思います。大幅な役割変更を受け入れて下さった補助役員の方々、本当にありがとうございました。

当日は、楽しそうな笑顔やお友達と相談する姿、悩んだり迷ったりする姿等、沢山の表情が見られて私達もとても嬉しく、改めて心より感謝致します。少しでも早く、穏やかな日常が戻って来ますように…。この度はありがとうございました！

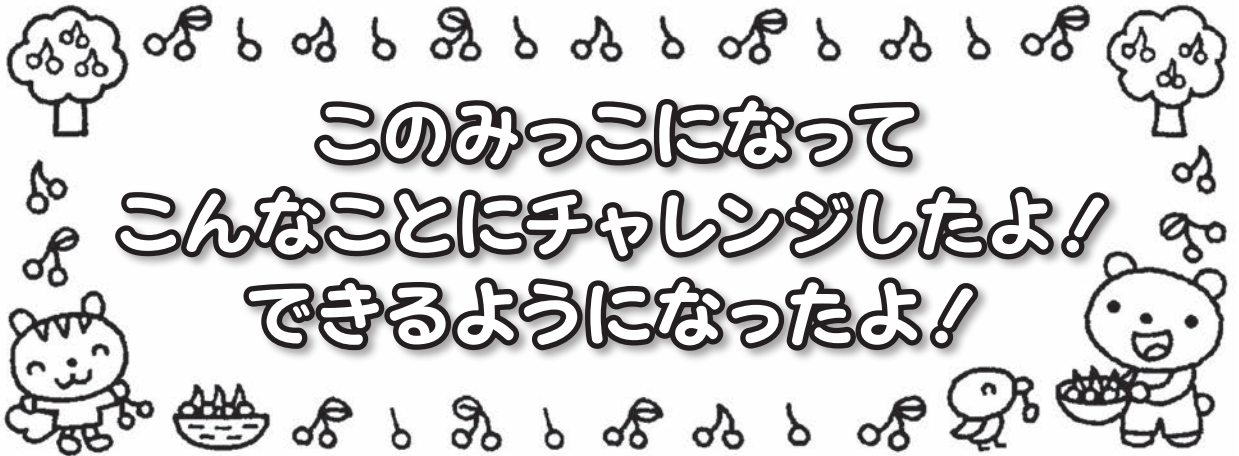


少年 中 ぱ る て い こ の み



長 本 物 の お 金 で お 買 物 !





このみっこになって こんなことにチャレンジしたよ! できるようになったよ!

水遊びやプールが大好きなほのちゃん。ある日、お風呂で、「ママ見て！顔つげできるよー」と言っていて、一瞬ですが、出来るのを見せられました。そして、それで自信が付いたのか、「スイミングしたい！」と言って、スイミングに通い始めました。このみっこになって、視野が広がって、たくさん刺激を受けて、自分の好きーや、したいーに気づけたんだなと思います。これからも色々なことに挑戦して行ってほしいです。

初めてのことが苦手な偏食な息子、入園時は不安でいっぱいでした。

やはり、バスや給食に拒否がありました。少しずつ慣れて、今では楽しそうに「今日は〇したよ」と話してくれたり、運動会の歌やダンスを覚えてくれたりと、出来ることが増えて自信もついてきました。

まだまだ、苦手な事もいっぱいだけど、いろいろなことにチャレンジして、出来るが増えるのが楽しみです。



【こすもす組】
梶野 綾子
(はる と 暖人)



【もも組】
國本 春香
(ほ の が 穂野加)

年少さん

このみっこになって、自転車に乗れる様になったよ！2歳のクリスマスマスに、サンタさんにピカピカのオレンジの自転車を貰いました。ずっとストライダーに乗っていたけど、少し大きめのマウンテンバイクは勝手が違う様で悪戦苦闘。いつの間にか倉庫の奥へ。幼稚園に入ってから乗れるお友達を見て、自分から「乗りたい！」と。今ではすっかり上手に乗れる様になりました。日曜日には、お父さんとサイクリングへ行くのが楽しみです。

超未熟児で生まれた息子は体格が一回り小さいです。けれど、活発な性格で体を動かす事が大好きなので、体力づくりや発育にいいと思えば体操教室を始めました。

ホールを走り回り、大声を出し、飛び箱にドッジボールなど楽しみ、時に悔し涙もあつたり、鉄棒が上手に回れるようにもなりました!!

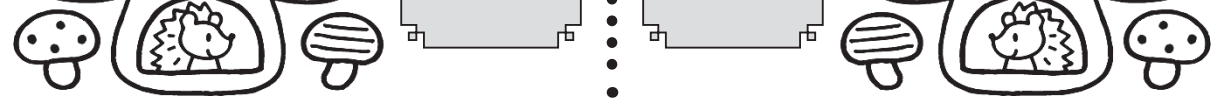
お母さんは、小さく生まれて入院していたあの頃からこんなに成長した姿が見れてとっても嬉しいよ。これからも色々な事に挑戦していこうね♡



【すずらん組】
大島 香織
(し ょ う や 嵩也)



【ばら組】
上田 育延
(が く 雅久)



このみっこになってこんなに成長したよ!
 年長さんになったら〇〇したいな!

入園から一年半が経ち、「自転車でお友達の家に行きたい」「走るのが早くなりたい」など明確な目標を持って練習に取り組むことが出来るようになりました。困難なことにも「どうしたら出来るかな」「何でかな」と考え「こうしたら良いかな」と自ら色々試して克服する姿も見られるようになりました。



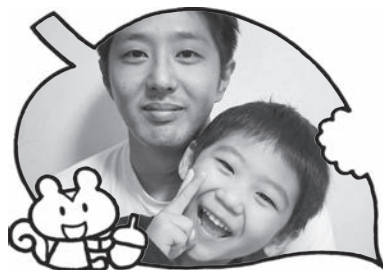
【ゆり組】
 阿部 登誉晃
かすは
(華寿葉)

【すみれ組】
 田中 美佳
ひまり
(陽莉)



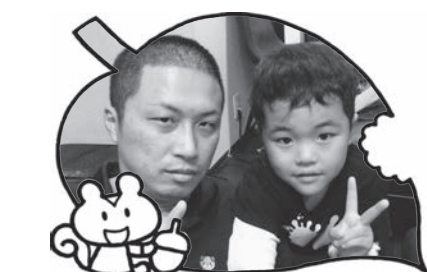
年中さん

このみっこになってからは、結果よりも過程が大事という事に気付くことができました。お友達と協力して、何かを達成する。という楽しさもだんだんと分かっています。年長さんになっても、サッカーやスイミングと体を動かす事を全力で楽しみたいな。



【つばき組】
 野中 俊宏
りんだい
(綸乃)

【れんげ組】
 中矢 博彰
けいすけ
(圭祐)



【ひまわり組】
 山内 秀記
あつた
(奏多)

感情の切り替えが苦手だった息子も、このみっこになって、日々、少しずつ落ち着いて穏やかに過ごせる日が増えてきました。先日行われた運動会でも、みんなとパラバルーンを上手に表現できていました。

今年の夏頃から、プールにも慣れてきて、もくもくとも楽しんでるようになったので、年長さんになったら、数メートルでも泳げるようになればいいなと期待しています。

怖がり、恥ずかしがりやな陽莉。傷ついて大泣きしながら登園する時期もありましたが、先生と相談しながらなんとか乗り越え年中さんになりました。

最近では、難しかったり怖かったりすることにも「ちょっとだけがんばる!」と勇気を見せてくれることが増え、成長を感じます。これからも、いっぱいいろんなことにチャレンジして、「できた!」のかわいい笑顔をいっぱい見せてね!

このみっこになって、一年と何ヶ月か過ぎました。成長したと感じたのは、「ありがと」「ごめんなさい」を言えるようになったことです。素直に感謝の気持ちを伝えたり、自分の悪かったところを認められるようになり、嬉しく思います。年長さんになったら「自転車に乗れるようになります!」と言っています。まだ補助輪付きで乗っているのですが、練習して乗れるようになってほしいです。これからも楽しく元気に過ごしてほしいです。

とにかく負けず嫌いで、一番に嫌いと悔しい気持ちでいっぱい。

なかなか気持ちの切り替えができなかった子です。

感情の切り替えが苦手だった息子も、このみっこになって、日々、少しずつ落ち着いて穏やかに過ごせる日が増えてきました。先日行われた運動会でも、みんなとパラバルーンを上手に表現できていました。

今年の夏頃から、プールにも慣れてきて、もくもくとも楽しんでるようになったので、年長さんになったら、数メートルでも泳げるようになればいいなと期待しています。

令和2年度 かかしコンテスト結果発表

1位 きく組 (れんげ組)



ねずこかかし

287票

2位 たんぼぼ組 (ゆり組)



ピカチュウかかし

172票

3位 さくら組 (つばき組)



どうもろこしピエロ おぼけかかし

142票

4位 ふじ組 (すみれ組)



こちようしのふかかし

123票


園からのお知らせ

新任紹介

2学期より新しくいらっ
しゃった先生です！

このみっこ達に一言！

最近のハイテクおもちゃに
びっくり。
みんな使い方を教えてくれて
ありがとう。
一緒に楽しく遊んでね！



西田 絹子 先生
(このみホーム)

「農林水産省実施における食育等推進事業」について

農林水産省では新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、在庫の滞留、売り上げの減少等が生じている品目を食材として活用して子ども食堂等を「食育」の視点で支援することになりました。南海放送が愛媛の農業を守ると共に子ども達の食育を支援するため本事業に参画することとなり、当園の給食を一手に担っている業者からの依頼を受け、第一回は愛媛県産の養殖魚、第二回は伊予牛を食材として給食を頂きました。子ども達は工夫された給食に大喜び！先生たちも大満足でした。



♡ HAPPY ♡
♡ WEDDING ♡

年少ばら組担任の宮崎梨子先生が、この度めでたくご入籍されました！幸せいっぱいのは梨子先生に突撃インタビューしてみました♡

- ・ご入籍は？
- ・令和2年7月21日です。
- ・新しいお名前は？
- ・加藤梨子になりました。
- ・新しいお名前は？
- ・ズバリ！旦那様の好きなところは？
- ・過度のお調子者だけど、いつも頼り甲斐があるところですよ♡

ありがとうございます！
末永くお幸せに♡

